

## 卒業論文を書くって、どんな意味があるの？

福岡大学人文学部日本語日本文学科  
卒業生（2022年度）アンケートより

### ● 主体的な学びとしての「卒論」

- 卒論がなければ特定の分野を深く知る機会が少なくなります。積極的に学ぶという点でも卒論は大切だと思います。（匿名）
- 自分の学科や学習分野に対する興味を持ち、卒業後も理解を深められることから、卒業論文作成はとても貴重な経験になった（匿名）

### ● 「卒論」は4年間の積み重ね

- 過去に受講した授業でのレポートや基礎知識が重要になっていくと感じました。（匿名）
- 卒論を書く中で、今まで学生生活で学んだ知識を活かすことができる場面が何度もありました（匿名）
- 1-3年生で学んだ知識が4年生の卒論にいきてくると感じる。（竹内唯乃さん）
- 4年間で学んだことを振り返りながら少しずつ知識を塗りなおしていく感覚だったから大学の学びを振り返られた（NHさん）

### ● 「卒論」によって得られる満足感、達成感、成功体験

- 「4年間しっかり学んだ！」という実感が湧く。卒論を書くことで4年間学び切った満足感と実感が湧く。（椎葉美羽さん）
- 自分が学んだことをアウトプットし、明確な形にして残す機会を手に入れられ、私の達成感と自信に繋がりました（匿名）
- インプットのみではなくアウトプットする経験が将来に活かせるのではないかと。卒論がない学びだと、自分が何を学んだのかぼんやりとしたままになってしまうかもしれません。（城田優希さん）
- 卒論を書いたことで自分自身の学び、成長が分かり、4年間無駄に過ごしていなかったとこれからの自信に繋がる。（竹内唯乃さん）
- 自分がこれほどまでに長い期間、同じものに向き合い続けて完成させたのだという自信は、成功体験としてこれからも私の中に残ると思います（匿名）

### ● 「卒論」によって得られる技能

- 最後まで粘り強くやり遂げる姿勢が身についた。（椎葉美羽さん）
- 知識を活用し発展させる論理的思考の育成、資料作成や収集の実践（匿名）
- 主に文章力が身に付いたと感じます。内容が分かりやすく説得力のある文章となるように、工夫しながら執筆に取り組みました（MIさん）
- 他人にとっても、わかりやすい文章となるよう心掛けるようになった点で成長した（匿名）
- 思考や探求、言語化する能力に関しては、卒論を執筆した日文の学生は皆、誇れるものがあると感じています。（城田優希さん）

### ● 「卒論」って、「貴重」で「贅沢」な時間

- こういう風に1~2年間ひとつの事に向き合い、研究するという事は今後少ないと思うのでいい経験になった。（竹内唯乃さん）
- 専門的な知識を持った先生の力を借り、一つの論文を書き上げる機会は今後減多にない、大変贅沢な時間だった（池部汐音さん）